

☆ 子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第12号 ☆ ☆

マイ スカイ

1996年7月2日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発 行 者

板野中学校

学 習 会

編集・文責: 吉成正士

校内で、今年になって変わったこと。いろいろあるけど、お昼の放送。これは随分と様
 変わりしました。その日のお天気の放送も入ったり、また曲のリクエストもとったりして、
 すごく広報放送委員会が活発になってきました。

他にも、つい最近整美委員会がモップ掛けを廊下にとりつけてくれました。おかげで廊
 下が整理整頓され、すごく通行しやすくなりました。ありがたいことですね。

以前から生徒会専門委員会の活発化が言われてきましたが、やはり自分から動くとい
 うことは大切なことです。そのことが、生きがいのある生活にも結びつくように思います。
 みんなで知恵を出し合い、生活改善運動を、私たちの手で実現していきましょう！



◎県中第2回実行委員会リポート (6月15日: 吉野中学校)

6月15日、徳島県部落解放中学生集会の第2回実行委員会が、吉野中学校にて行われ
 ました。今回は、第1回よりも参加校が増え、大麻中学校、牟岐中学校、不動中学校、吉
 野中学校、美馬中学校、三島中学校、上板中学校、山川中学校、そして板野中学校と、県
 内各地から9校もの参加があり、前回以上に盛り上がりました。今回も各校の状況報告
 などがメインになり、交流をはかることができました。

1回、2回と毎回参加校が増え、本番当日が盛況に開催されることが、手応えとして感
 じられるようです。残念ながら、この日私は遅れて参加することになったので、そのも
 うをリポートすることはできませんが、第3回からはいよいよ本番当日の内容にふれて話
 し合いがされるようで、「いよいよ動き出す！」といった感じです。ぜひとも集会運営の
 裏方役として、活躍してみてください！

第3回実行委員会参加者を募る！！

来る7月13日第2土曜日、場を不動総合センターに変え、昼の1:30より第3回
 の実行委員会を行います。多くのみなさんの参加をお待ちしています！

「差別」の中で

上

同和問題の今後

神戸市東部。住宅街の一角にある同和地区の住民は、阪神大震災が起きた昨年一月十七日のことを「ひとひらのムラが一瞬につぶれた」と表現する。

震災で地区内の住宅の九割以上が全半壊した。狭い地区で、犠牲者は二十人を超えた。

路地に並んだ木造の古い家々が壊滅。住宅の再建は一部で始まったが、いまでも手付かずのさら地が目立つ。

同和对策事業による住宅改良が遅れていたこの地区では、四棟の団地型の改良住宅が建設される計画だった。だが、震災前に完成し

たのは一棟だけで、入居も始まっていなかった。事業残り、震災の被害はここに実施区域は地区面積の七分集中した。一方、一九九三年度に改

来、多くの同和地区で改良住宅が建てられた。しかし、地区によっては着工が遅れるなど、ばらつきが大きい。同じ地区内でも、密集や老朽の程度などから、改良事業の対象にならなかった区域もある。大地震に襲われたことで、神戸や阪神地区では、改良事業の進展と、被害の相関関係があ

基盤整備 地対協結核部の報告書は、同和地区の生活環境改善などの基盤整備は「おおかた完了した」などとして、特別対策から一般対策への移行を打ち出した。残る課題への対応にゆだねた。

震災の街 指定地域か否かで明暗

ていたとしても、犠牲を免れることはできなかったとみられる。

良事業が終わった兵庫県芦屋市の同和地区では、震災での死者は出なかった。地区内の公共施設には地区外の住民も避難してきた。長屋や老朽住宅を整理して建てられた六棟の鉄筋住宅が、住民の命を守った。

六九年に同和对策事業の特別措置法が施行されて以来、神戸市の場合、同和地区民からは聞かれる。ある地

市の西部にある大規模同和地区は、最も早く住環境整備が始まったところだ。しかし、ここでも住宅改良事業の対象区域は地区面積の約四割で、残事業もあ

市が改良住宅の補修や再建を始めている。一方、改良事業の指定区域外の住民に対しては、市は主に「住民主導」での街や住宅の復興案づくりを求めている。しかし、復興の動きは鈍い。地区によって借地や借家が多くの土地・建物の権利関係が複雑な。若者が地区外に流出し、高

区民が多いという現実も重なる。さまざまな要因が、復興の壁になっている。「こんな複雑な状況の中で話をまとめるのは不可能に近い。市が首頭を取って、地元の人が入れる低家賃の公営住宅を建ててもらいしか復興の道はない」という声が、指定区域外の住民からは聞かれる。ある地